

## 平成29年度 高校生と市長のふれあいトーク記録票(村上高等学校)2学年

と き: 7月28日(金)8:45 ~ 9:42

会場: 村上高等学校体育館

参加生徒: 180人(男90人 女90人)

報道関係: 1人 市長 市役所職員5人 合計187名

※ふれあいトークで発言された内容を抜粋した記録してください。

学校名	NO	発言内容	答弁者	答弁内容
村上高校	1	映画館や服屋など村上に作ってほしいです。新潟まで行くと時間とお金その分減ってしまうので、考えてほしいです。	市長	難しい話であるが、人口減少問題にしっかりと向き合いながら、少しずつ人口を増やしていき、すぐにという話にはならないがそのようなニーズにしっかりと応えられるように民間業者が参入してくれるような仕組みを作っていく必要があると考えます。今いただいたご意見を参考にこれからのまちづくりを進めていきたいと思っております。
村上高校	2	賃金を今より上げることは可能ですか。	市長	上げたいと思っています。思っていますが、地域の民間企業全体のキャパシティを上げていくことが必要で、そうすると必然的に経済活動が活況し、結果賃金にも反映されると思っています。一つ一つの事象と地域全体のインフラ整備をすること、また皆さんの購買意欲にしっかりと応えられるようなものを作りあげていくということが色々な形になって、しっかりと組み重なることで賃金の向上につながっていくものだと思います。頑張って賃金を上げていきたいと思っています。
村上高校	3	村上市の人口減少を食い止めるために、雇用の拡大をしようとありますが、それは一体どのようなことをするのですか。	市長	村上市の人口動態を見ると、自分の将来を考えて大学を選択する、専修学校を選択するなどいろんな選択はあると思いますが、一旦村上市を離れて、その後戻ってくるかというところが難しいと感じています。特に女子の方が戻ってきていないという統計があります。雇用の受け皿としてやりたい職種がない、いわゆるマッチングがないからだと思いますので、雇用をしっかりと結び付けていくということが重要であると認識しています。
村上高校	4	1990年に年少人口が老年人口が逆転し2020年には老年人口がピークの可能性があるという説明でしたが、高齢化が進む社会の中で介護等の対策も重要となってくると思うのですが、どのように考えていますか。	市長	老年人口をひとくりでいうとお年寄りを軸に考えがちですが、皆さんの周りに70,80歳を超えても元気な方が大勢いると思います。一般的に介護というと身体的な支援を行うようなイメージが強いかと思いますが、そうではなくて、そうならない支援を介護予防という形にしていく。地域の茶の間を作ったり、スポーツクラブの方々に外向いてもらい、介護予防のための軽運動をやったりしてもらっています。市としても健康寿命を延ばすための老人福祉計画に基づいて行っています。
村上高校	5	自分は関川村出身ですが、この先村上市と関川村が合併することはありますか。	市長	それぞれの自治体の考え方だと思います。これまで、村上市と関川村、粟島浦村は歴史的に連携してきたわけでありまして。はじめ7市町村で合併協議を始め、その後関川村と粟島浦村は離れられて、今の状況にあるわけです。現在の関川村さんの状況を見ますと、コンパクトでしっかりと自治体運営がされております。ですのですぐに合併という話はないと思います。
村上高校	6	自分は胎内市出身で、胎内市はアメリカのイリノイ州カーボンデール市と姉妹都市となっていて、ホームステイなどの取組があるらしいのですが、村上市はどこかの都市とそのような取組はしていないのですか。	市長	胎内市さんは色々な形で海外交流も含めてやられているのは承知しておりますけれども、村上市は国内の姉妹都市、友好都市と協定を結んでおり、また防災協定なども結んでおりますが、その中で若い世代の皆さんの双方でという取組は残念ながらしておりません。以前は、カナダと「鮭文化」のつながりで交流をしていたということは聞いています。村上市においても、胎内市さんのような取組ができれば良いなと思っておりますが、今後しっかりと考えていきたいと思っております。